

大谷小中学校だより

NO.2
令和5年 5月25日
珠洲市立大谷小中学校



風薫る5月 幸せを見いだす力

校長 上田辰美

風薫る5月とはよくいったもので、若葉を渡ってくる風の美しい季節を迎えています。

5月20日(土)に、黒米の田植えを行いました。5月5日に震度6強の地震があり、被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、そのような中、平家の里構想研究会の皆様・地域の皆様・保護者の皆様のお力を借りて、田植えを行うことができましたことに心より感謝申し上げます。

今年の田植えには、例年と違うことがありました。

一つ目は、肌寒かった日ではありましたが、いつも以上に子どもたちの歓声が響いたことです。名前を呼んで、昨年できなかったことに挑戦させようとする教職員の声や仲間の声、それに応えるかのように歓声を上げながら水田に足を踏み入れる姿。泥だらけの手でお互い抱きつき合って泥をつけあって笑い合う姿など、みんなで楽しむことができていました。今年度から対象学年を全学年として、1年生からの参加も可能としたところ、1年生のりゅうきさんは、和田PTA会長さんに付き添われ、とまどいながらも時間をかけて足を踏み入れ、苗を植え、最後には、小さな足で田んぼを駆けまわるほどになっていました。経験することでの楽しみを見つけ出していたように思います。二つ目は、植える方向の変化です。



これまで、長方形の田んぼの短辺から長辺に向かって植え進みましたが、今年は、長辺に並んで、短辺に向かって植えることになっていました。ゴールが近くなり、何度もゴールする達成感を味わえるようになっていました。さらには、ゴール付近にはコロの跡がなく、子どもたちが自由に移動できるようになっており、ちょっとしたお楽しみ空間になっていました。その効果か、9時から始めて11時前に植え終えることができていました。そして、一方で、変わらないものもありました。それは、子どもたちの田植を応援して下さる方々の存在です。準備をして、笑顔で迎えてくださり、笑顔で見送ってくださいます。手を洗ったり足の泥をきれいに洗いがす水場の設定、休憩時のお茶やお菓子の準備、お昼のおにぎりなど、大事にいただける優しさは、毎年変わることがありません。更には、吉原さんのワンポイントレッスンも楽しみの一つです。「苗を植えるではなく、苗様をさずける」という言葉や、苗を投げて渡してくれる人の呼び名を教えてくださいました。

今年度の学校教育目標は、「自己教育力を高め、幸せな人生を切り開くことのできる児童・生徒の育成」です。どんな状況にあっても、幸せを見出し、実感できる人は強いものです。毎年繰り返されるこの田植えの体験は、子どもたちにとって、今は行事の一つにすぎないのかもしれませんが、長い人生において、ふるさとのおいしさや、きつと幸せな時間として刻まれると思います。25年以上も前の小田和正のコンサート会場で見つけた言葉「幸せは追い求めるものでなく、手の中にあると気づくことである」が、ふと蘇ってきた時間でもありました。子どもたちの衣服や顔について泥は「幸せの泥」だったはずですが、貴重な体験の場へのご協力ありがとうございました。新聞記者の方が、こんな風に、地域・保護者・教職員での田植はなかなかないものですよと教えてくださいました。PTA スローガン「誇り」につながる体験となりました。

学校運営協議会でご承認頂いた学校経営プランをご紹介します。学校・保護者・地域の皆様と学校教育目標達成に向けて歩んで参りたいと思います。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年度 大谷小中学校 経営プラン

学校教育目標

自己教育力(自分を褒める力・叱る力)を高め、幸せな人生を切り開く児童・生徒の育成
～ 主体的・対話的で深い学びへ～

1. 校訓とめざす生徒像 友愛 敬愛 郷土愛 強く・正しく・寛らかに

- さわやかな返事・あいさつができる児童・生徒
- 考え、判断し、行動し、納得解を得ることができる児童・生徒
- ふるさとに元気を届けることができる児童・生徒

2. めざす教師像

- 子どもに慕われ、子どもを鍛えられる教師
- 親に信じられ、地域に愛される教師
- 仲間に頼られ、校長に任され 自分らしく活躍できる教師

3. めざすPTA活動 R5年度スローガン (R4年度から記載)

～ 誇り～ OOTANI PRIDE 未来へつないでいこう

【職員の活躍】

大切な一日を過ごす職場は、仲良く仕事ができる場であってほしい。そこで、次の2つを大切にす。

- ① 困ったことがあったら叫ぶ
叫びが聞こえたら、誰かの役に立つチャンス
- ② 助け合うことで成し遂げる

【一往復半を磨く】

学校が果たす職責の中で、最も大切なことは、「確かな学力」を付けることである。

- そこで、次の3つを大切にす。
- ① 子どもの声で授業・行事・集会をつくる
 - ② 振り返り等の掲示を充実させる
 - ③ 一往復半を楽しむ

【地域への参画】

児童・生徒が生涯にわたって身につけるべき大切なことは、「しなやかに逞しく生きる力」である。

- そこで次の2つを大切にす。
- ① 小さな失敗を経験しながら、それを乗り越える場の保障をする
 - ② 参画する場をつくり、やりきらせる

● 目的・方法・ねらいにこだわり、成果に繋げる。成果とは、子どもの姿であり、職員の姿である。

● 目標達成のための3Sを意識して

simple system see: 簡単に 体系的に 見えるものに

● 目標達成のための5Sの行動を

support smooth speedy smile share: 支援して 円滑に 速やかに 笑顔で 共有して

【安心・安全な学校】

教育活動を支える根幹は、安心・安全な学校であることである。そのためにも、危機管理意識が高く、問題の未然防止・早期発見・早期解決に努めることが求められる。

そこで、次の2つを大切にす。

- ① 些細な変化を見逃さず、報告・連絡・相談をし合う体制をつくる。
- ② 自分のこととして考え、行動できる体制をつくる。

■ 児童生徒集会 5月 9日(火)

学級目標発表と奥能登大会に向けてのインタビューが行われました。それぞれに工夫し、自分たちが大切にしたいことを伝えることができていました。



■ 野菜の苗植え 5月12日(金)



前期児童が、野菜の苗を植えました。子どもたちは、ミニトマト、かぼちゃ、すいか、なす、ピーマンの苗を、どの野菜になるのか色や葉の形から考えながら丁寧に植えていました。植えた後は、「おいしくなあれ」と話しかけながら水やりをしていました。苗をお世話していただいた豊平様、本当にありがとうございました。



■ 奥能登卓球大会 5月13日(土)

穴水中学校を会場に、奥能登卓球大会が行われました。7年生にとっては初めての大会となり、団体戦ではとても緊張した様子でしたが、徐々に力を発揮していました。8、9年生は、最後まで競り合う試合が多く、最後まで強気で攻める姿やあきらめずに1点を取りに行く姿から、この一年間の成長を感じました。らいきさん、ひなさん、めいさん、さやかさん、しゅんすけさんが個人戦でベスト8入りを果たしました。

子どもたちにとっても、他校の選手と対戦し、自分の成長や課題を自覚するよい機会となったようです。たくさんの方にご指導いただき、子どもたちは、次の県体予選となる能登地区大会に向け、前向きに練習に励んでいます。



祝
奥能登卓球大会ベスト8
らいきさん ひなさん
しゅんすけさん
めいさん さやかさん

■ 計画訪問 A 5月24日(水)

奥能登教育事務所の皆様、珠洲市教育委員会の皆様をお迎えし、全学年の授業の様子を見ていただきました。午後からは先生方との研修会を行い、子どもたちの様子や、授業の様子や今後の取組について学ぶことができました。



■ 読み聞かせ 5月25日(木)



昼休みの時間に、どんぐりの会の皆さんに絵本の読み聞かせをしていただきました。お話の内容に引き込まれた時の子どもたちの表情や思わず顔を見合せて笑う姿など、本の世界を楽しんでいました。後期課程の生徒は、読み方ひとつで相手を引き込む世界を創り出すことができることに魅せられていました。今年度は毎月1回ご訪問いただくこととなりました。6月も楽しみです。

ありがとうございました

- ・豊平様から、子どもたちにアクエリアスをいただきました。
- ・庄田様から野菜の苗をいただきました。
- ・PTA 会長和田さんから、田植えの際にお茶をいただきました。
- ・栃木県川本様より、地震お見舞いとして和菓子の最中をいただきました。

～子どもたちの思い～

●私は、田植え体験は初めてだったのですが、うまく植えられたのでよかったです。それと感想をきかれてちょっときんちょうしました。田んぼに入ったら土がぬるぬるしてました。植えるときのコツを教えてもらったから上手にできたのでうれしかったです。こうじくんを見るとけっこうはよかったのでまねしてみたら、私もできたのでよかったです。田んぼに入ってなえのもち方に気を付けてたら、きれいに植えられたのでよかったです。休憩後は、田中先生のむすめさんのめんどろをみていました。来年の田植えもさんかしたいと思いました。 (あずさ)

●ぼくが黒米の田植えで楽しかったことは3つあります。1つ目は、初めてさんかしたけど、ちゃんとなえを植えることができたのがうれしかったです。2つ目は、アマガエルがいたことです。アマガエルがかわいくて、さわったりするのが楽しかったです。3つ目は、おにぎりがおいしかったです。とても楽しい土よう日でした。 (りくと)

●ぼくは、奥能登卓球大会を終えてがんばったところと、次の大会の時にしたいことが1つずつあります。1つ目は、個人戦をがんばったこと。相手は1年生だったのですが、思っていたよりも強くあせりました。最初2セットとられて、あとから1セットとって、4セット目で僕があと1点とればフルセットだったけど、負けてやしかったです。でも、できる最大限のプレーができました。2つ目は、次の大会までにいろんなサーブができるようになりたいです。今回は、下回転とドライブロングしかできなかったの、次は横など、いろいろなサーブをしたいです。 (こうたろう)

●私は、奥能登卓球大会に参加して、反省する点とよかった点があります。まず、反省すべき点は団体戦についてです。大会が久しぶりなものあって緊張し、同じミスをくり返したり、先生に言われたことがあまり実行できませんでした。なので、次の全能登卓球大会では、あせらず先生やコーチに言われたことを冷静に聞いて実行したいと思いました。次によかった点は、個人戦のプレーについてです。個人戦では、団体戦から気持ちを切りかえて落ち着いてプレーすることができました。特に、2回戦では、ねばり強くつつきを返し、勝つことができたので良かったです。1ヶ月後には全能登卓球大会がひかえているので、油断せずみっちり練習していきたいです。 (めい)

●今回の奥能登卓球大会では、個人的に満足のいく結果でした。2回勝つことができたうえに、穴水の上手な人と戦うことができました。去年に比べて緊張もあまりなくなり、いつも通りのプレーで2回勝つことにより、モチベーションもあがり、上手な人と戦ったことで、自分の課題を見つけることもできました。今回見つけることができた課題は、キレたサーブに対するレシーブと、相手に打たせないコースをつくることです。また、打たれたときにブロックする技術も必要だと思います。この課題を克服するために、これからも頑張って練習していきます。 (しゅんすけ)

●私の今回の大会の結果はベスト8でした。そして、チームの結果は11人中5人がベスト8でした。結果だけを見ると、良い結果だったと思います。でも、試合のプレーをみると、自分はあまり良い結果ではないと思います。なぜなら、前先生と垣内さんに全試合で「足を動かして」とアドバイスされたからです。自分では、足を動かして打ちやすい所に行ってると思っていました。自分の良かったと思うところは、コースを厳しく打てた場面があったことです。次の試合では、足を動かして厳しいコースをねらって戦いたいと思います。 (ひな)

6月 執行部生活目標
元氣な挨拶で、
みんなの心もハッピーに!
お手本は桜ヶ平さん!

6月 行事予定 青楓ベンチに影をゆらしつつ 辰美

1	木	交通安全教室・避難訓練(不審者対応)9:35 街頭指導 7:30 安全点検	11	日		21	水	
2	金	英検1次 16:10 3名受検	12	月	国語(ことわざ)コンテスト1限	22	木	5年施設巡り 9:30 発 15:30 着
3	土		13	火	そらみさんとのワークショップ 13:30 ■職員会議④15:30	23	金	
4	日	市陸上競技協会小学生記録会 (4~6年生)	14	水	若プロ 8:10	24	土	
5	月	7年家庭科 坂先生と 14:50 4年施設巡り 9:30 発 13:50 着	15	木	街頭指導 7:30 宮原	25	日	
6	火	■児童生徒集会 3:8:10	16	金	■激励会 6限	26	月	後期進路説明会 14:00
7	水	珠洲市スクールシアター午後 ラポルトすず	17	土	能登地区卓球大会 6:00 発七尾総合市民 体育館	27	火	
8	木	3年生施設巡り 9:30 発 14:50 着 ●校内研修会④15:30	18	日	能登地区卓球大会 6:00 発七尾総合市民 体育館	28	水	■児童生徒委員会④15:00 読み聞かせ 13:30~
9	金	■授業参観 13:50 塩田体験説明会 14:50	19	月		29	木	
10	土		20	火		30	金	